

船舶事故調査報告書

平成21年9月10日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員長 後藤 昇 弘
 委員 楠 木 行 雄
 委員 横 山 鐵 男（部会長）
 委員 山 本 哲 也
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	平成20年12月24日 09時00分ごろ
発生場所	愛知県弥富市小島町附新田 近鉄木曾川橋梁下 木曾川川岸から150m付近（概位 北緯35°06.4′ 東経136°42.9′）
事故調査の経過	平成20年12月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{きんえい} 金栄丸、4.03トン ME3-46522（漁船登録番号）、個人所有 11.10m(Lr)×2.11m×0.73m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和55年8月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年8月15日 免許証交付日 平成19年7月23日 (平成25年5月5日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月24日09時00分ごろ、船長とその家族計2人が乗り組み、小島町附新田の近鉄木曾川橋梁直下の木曾川川岸から150m付近で、漁具を水中に入れてしじみに付いた泥を洗い流しながら航行中、漁具が川底の障害物に当たり、漁具を持っていた船長が落水した。 船首部でしじみの選別をしていた家族が振り向いたときには船長が見あたらず、警察と消防で捜索の結果、同日15時ごろ発生場所から約100m下流の水中で発見され、溺水による死亡と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2、気温 4.5℃ 海象：平穏、水温 8.9℃（平成20年12月平均、弥富揚水機場）
その他の事項	船長は、船内に備えた救命胴衣を着用していなかった。 漁具は、近鉄木曾川橋梁下の木曾川川岸から150m付近で発見された。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり（船長） なし 不明 死因は溺水であった。 船長は救命胴衣を着用せず、落水したものと考 えられる。
原因	本事故は、小島町附新田の近鉄木曾川橋梁付近において、本船が漁具を水中に入れて航行中、漁具が川底の障害物に当たった際、漁具を持っていた船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生したものと考えられる。	